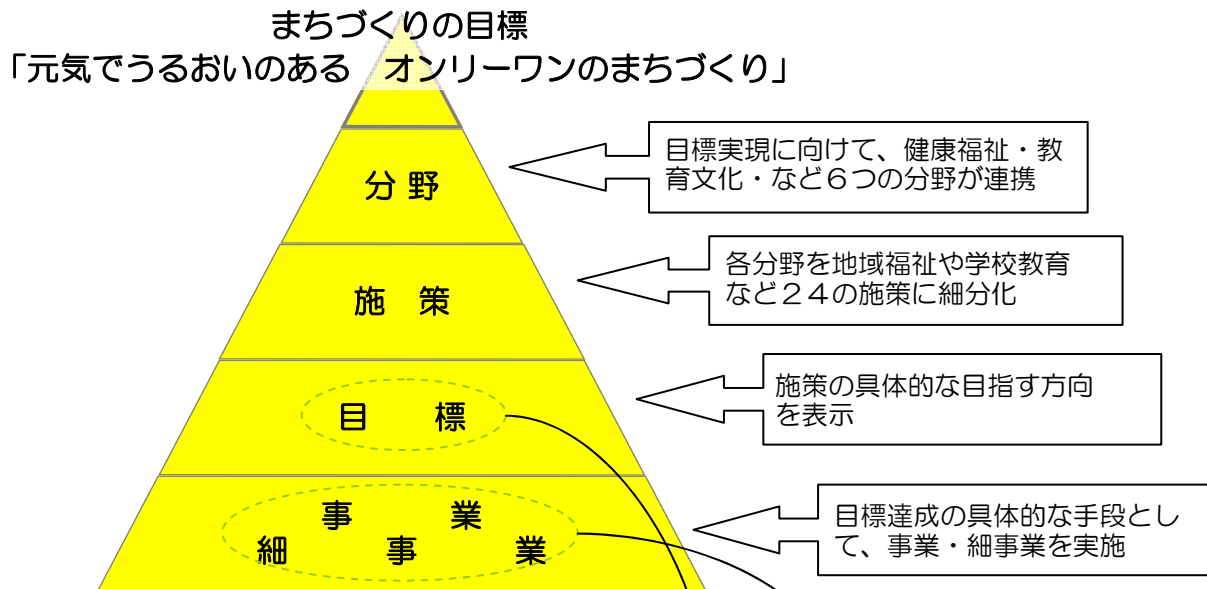


1. 行政サービス成果篇の見方について

○第4次川西市総合計画後期基本計画の政策構造 「笑顔・ときめき川西プラン」



行政サービス成果表目次

分野	施策	目標	目標別 評価頁	事業名	事業別 評価頁	決算 書頁
快適安全	生活安全	消費者のトラブルを防ぎます。	319	消費生活相談事業	413	308
				消費者啓発事業	415	308
				計量・表示適正化推進事業	417	310
		犯罪を減らします。	320	生活安全事業	419	146
産業活力	産業	商工業を振興します。	423	商工振興事業	431	304
				中小企業支援事業	433	304
				中心市街地活性化推進事業	435	306

※事業のうち、行政内部の管理関係事業については、掲載していないものがあります。

○各頁のコスト表示について

職員人件費は平均人件費×職員数で算出しています。

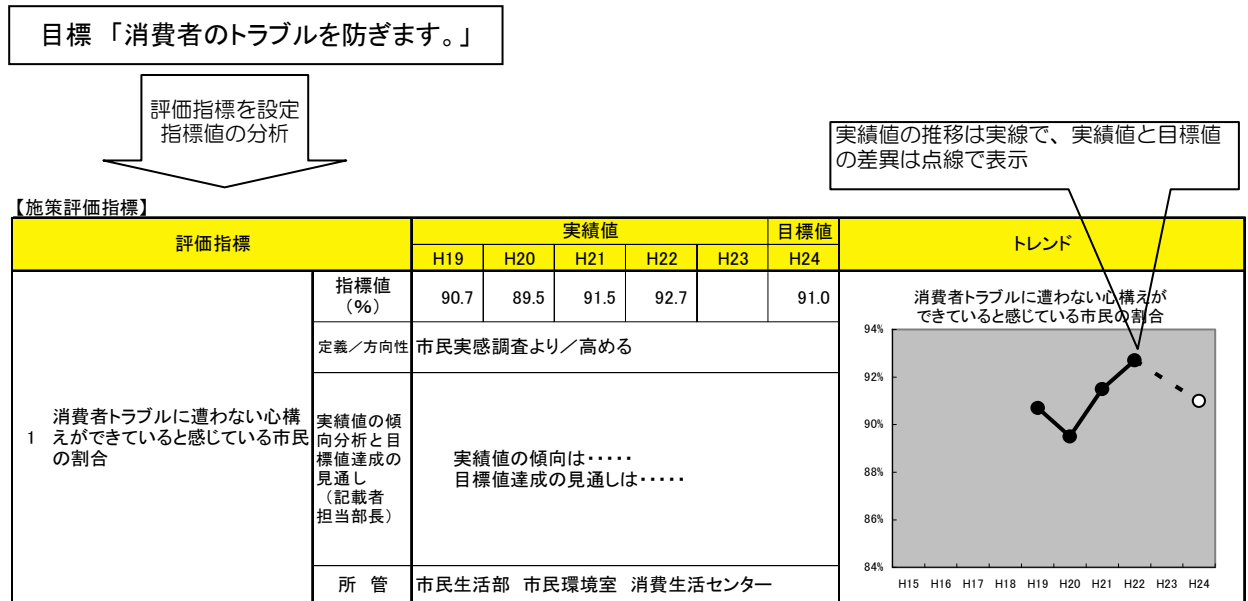
(一般会計における平均人件費：職員9,268千円、再任用職員3,997千円)

なお、この平均人件費には、職員共済組合負担金と、退職手当組合負担金を含めて算出しています。

公債費は、元金及び利子を各事業別に分類計上しています。

○施策の評価について

施策ごとに設定した目標を可視化するものとして「施策評価指標」を設定し、各評価指標における平成24年度の目標値と各年度の実績値を表示しています。
 目標値及び実績値の推移はグラフで示すとともに、評価指標を担当する部長が「実績値の傾向分析と目標値達成の見通し」について、関連する事業の成果をはじめ社会情勢の変化などを踏まえながらコメントしています。
 これにより、後期基本計画を施策目標の達成度から評価し、第5次総合計画（H25～H34）においては、市民目線に立った施策と事業の構築に繋げていきます。



○事業の評価について

この評価の目的は、評価過程において、事業の課題を掘り起こし、明らかにすることで、次年度以降の業務改善に繋げようとするものです。
 評価は、各事業を所管する部長が、次の3つの視点から行い、それらの合計点が、9・8点の場合は「A」、7・6点の場合は「B」、5～3点の場合は「C」としています。

- 妥当性・・・事業が、市民ニーズや施策目的に照らして、どの程度の妥当性を有しているか。
また、行政が担う必要があるか。
- 効率性・・・事業成果に対して、より少ないコスト（ヒト、物、金、時間）で達成できたか。
- 有効性・・・事業目的達成に向けて、事業成果は有効であったか。

6. 事業の評価(この評価は、各細事業の個別課題を抽出して行ったものです。)

自己評価	B	妥当性の視点から	効率性の視点から	有効性の視点から
		<input checked="" type="checkbox"/> 適正である(3点) <input type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)	<input type="checkbox"/> 適正である(3点) <input checked="" type="checkbox"/> 検討余地あり(2点) <input type="checkbox"/> 改善すべき(1点)
評価者 担当部長	9・8点:A 7・6点:B 5～3点:C	【「検討余地あり」・「改善すべき」と評価した点】 ・相談者の不利益につながらないよう、相談員のレベルアップを図るなど、検討の余地がある。 ・相談の進め方等において標準化を図り、公平、均質な相談ができるよう検討する必要がある。		